



ホームページのほかにも市公式フェイスブックや市公式LINE(2月15日現在、友だち登録者1万3965人のLINEVROOMでもまちの出来事を紹介しています。

1/24 名寄高校探究之行



各分野で活動する21人の市民が参加され、生徒は資料を渡し読み上げて話したり、タブレットを使用し表を見せながら説明したりと、研究内容を一生懸命に伝え発表していました。

生徒たちは拍車をかけて探究テーマに迫る

1/22 市民スキーの日



ピヤシリスキー場で開催、多くの市民が足を運びました。多くのイベントが行われ、それぞれの種目で声援が飛び交い、なよろ温泉サンピラーでも子ども縁日が開催されました。

名寄市民はリフト無料開放、リフト前は長蛇の列が

2/7 ふるさと未来トーク



風連中央小学校6年生22人の児童が「こんな名寄市になってほしい」という考えや取り組みを5つグループに分かれて、それぞれに発表していました。

児童・生徒がテーマに沿って市長と教育長と一緒に懇談

2/4.5 スペシャルオリンピックス 北海道・東北ブロック冬季大会



名寄ピヤシリスキー場となよろ健康の森で開催され、およそ60人の選手がエントリー。持てる力を精いっぱい発揮し、コーチや仲間たちの声援を糧に雪上を全力疾走していました。

来年2月にこの全国大会が名寄で開催する予定

2/10~12 なよろ雪質日本一フェスティバル・ふうれん冬まつり



南広場・名寄消防署風連出張所前特設会場でそれぞれ開催され、多くの市民で賑わいました。なよろ雪質日本一フェスティバルでは、今年から新たに「極寒焼肉フェス」が用意され、体を震わせながらも焼き肉を楽しんでいたり、「5色綱引き」など各イベントごと盛り上がりを見せていました。ふうれん冬まつりでは、ジャンボ滑り台やトナカイそり体験など、子どもたちがフル回転にあちこち回り、恒例イベントの「長靴飛ばし」でも、飛ぶ距離に比例して声援が湧き上がっていました。どちらの会場でも一日中を外で過ごす貴重な1日となったようです。



期間中、おおよそ天気も良好で盛況にイベントが行われたもよう

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。